

八月廿一日

5121

第一九七頁

次

大

二

軍事極秘

陸軍省

三五五

方軍第一師第三二九聯

訓示提出ノ件通牒

昭和十六年八月十四日 北支那方面軍參謀長 田 辺 盛 武

陸軍次官 木村 兵太郎 殿

首題ノ件左記ノ通提出ス

左

記

晋察冀邊區肅正作戰開始ニ方リ 方面軍司令官訓示
作戰參加將兵ニ與フル

部

昭和十六年八月十七日

16.8.17
1431

昭和十二・十・東京 助川 納

軍事極秘

晋察冀邊區肅正作戰開始ニ
方リ作戰參加將兵ニ與フル

方面軍司令官訓示

滿ヲ持シテ軍旅ヲ整フルコト月餘茲ニ起ツテ北部大行山脈敵共產黨
軍ニ對スル作戰ヲ開始セントス

惟フニ北支建設ノ禍根ハ一ニ共產黨軍ノ執拗飽クナキ蠢動ニ胚胎ス
然モ聖戰歲ヲ重ネテ共匪ノ禍害未タニ滋ク其ノ黨勢亦遽カニ樂觀ヲ
許サス明朗華北ノ顯現尙遠キヲ思ハシムルハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ
今ヤ精銳ヲ拔キテ北部大行山脈ニ進攻シ敵根據地ヲ覆滅スルノ機ヲ
得タリ正ニ翹望ノ好機タリ

而シテ今次作戰ノ目的ハ共產黨軍ヲ擊摧シテ其ノ根據ヲ覆滅シ以テ
華北治安攪亂ノ根源ヲ芟除セントスルニ在リ

時未タ溽熱ノ候山嶽重疊セル峻嶮ヲ踏破シテ神出鬼沒退避ニ巧ナル

敵ノ擊摧ヲ企圖ス其ノ作戰ノ容易ナラサル固ヨリ想察スルニ難カラ
ス而モ本作戦ノ成果ハ一ニ下級部隊ノ積極果敢、熱烈執拗ニシテ獨斷
機ヲ制スル討伐ノ累積統合ニ依リテ期待シ得ルト稱スルモ過言ニ非
ス特ニ分駐配置後ニ於テ然リ

將兵宜シク叙上ノ趣意ヲ體シ旺盛ナル志氣ト堅忍不拔ノ意志トヲ堅
持シテ作戰ニ臨ミ傲ラス侮ラス克ク皇軍ノ武威ヲ宣揚シ以テ作戰目
的ノ達成ニ寄與センコトヲ期スヘシ

右訓示ス

昭和十六年八月十四日

北支那方面軍司令官 岡村寧次